

支部長各位

第 58 回大会における入館制限について

支部長各位におかれましては、平素から和道流空手道連盟の運営に格別なるご高配を賜り衷心より御礼申し上げます。

さて、大会参加における入館制限について回答させていただきます。

<<保護者・引率者の参加について>>

現在、選手以外の参加者（保護者・引率者・監督等）にどのような形で参加して頂くか決まっておられません。参加選手が確定した後、新型コロナウイルスの感染状況／体育館の入館制限などの情勢を見極めてから検討します。

選手の参加を最優先に、入場できる保護者・引率者・監督の人数を逆算するような形になると考えております。

7月下旬～8月上旬には、御案内が出来ると考えております。

<< 参 考 >>

前回実績が参考になると思いますので、ご報告させていただきます。

第 55 回大会【実施日：2019/8/31・9/1】

・実参加者：635名（団体戦は、1団体を1名で集計）

東京武道館入場制限【2022/5/29 現在】

・観客席 1,728名

前回実績では選手1名に対して保護者2名程度の入館できますが、観客席にも立ち入る係員（保護者としての参加も希望される方）や警備など色々な形が考えられ、単純な差し引きにはならないと考えております。

○検討事項

- ・大学や社会人の方の保護者は必要ないと考えておりますが、小さいお子様や遠方（北海道・九州など）の方の事情は別途検討が必要。
- ・入／退館を全入替とするか、部分入替として実施するか検討が必要。
- ・入場制限一杯まで動員するか時勢検討が必要。

いずれも主催者判断となりますが、選手の出場を最優先に新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、安心・安全な大会に向けた判断になると考えています。

このような状況下でのお申し込みとなり、大変な御不安があると存じますが、出来る限り開催するよう対処しておりますので、ご理解を頂けると幸いです。

どうぞ宜しくお願い致します。

※大会要綱に同封した『第58回大会におけるIDカード導入及びIDカードによる入館制限及び感染症対策について』に一部修正（赤字）があり掲載します。

参加団体各位

和道流空手道連盟

大会会長 坂巻 明
大会実行委員長 山下 俊次

第58回大会におけるIDカード導入及び

IDカードによる入館制限及び感染症対策について

新緑の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は当連盟の活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、首記の件について、新型コロナの感染対策について以下の施策を検討しております。具体的な施策については、新型コロナの感染状況や世情にあった施策とするため、後日に改めて報告させていただきます。ご不便をおかけいたしますが、御理解の程、宜しく願います。

記

決定時期：2022年7月下旬～8月上旬

検討内容：新型コロナの感染状況に沿った入館制限・感染対策

----- 検討内容 -----

<入場制限>

- ・健康管理チェックシートの運用
※申込情報等を使って選手名を先に入力してから各団体へ送付するなど各団体の手間を極力無くすよう検討しております。
- ・ゼッケンを廃止し、IDカードを導入する。
- ・全員（役員／審判／選手など全て）がIDカードを使って、入退館管理を実施する。
※未所持者の入館不可

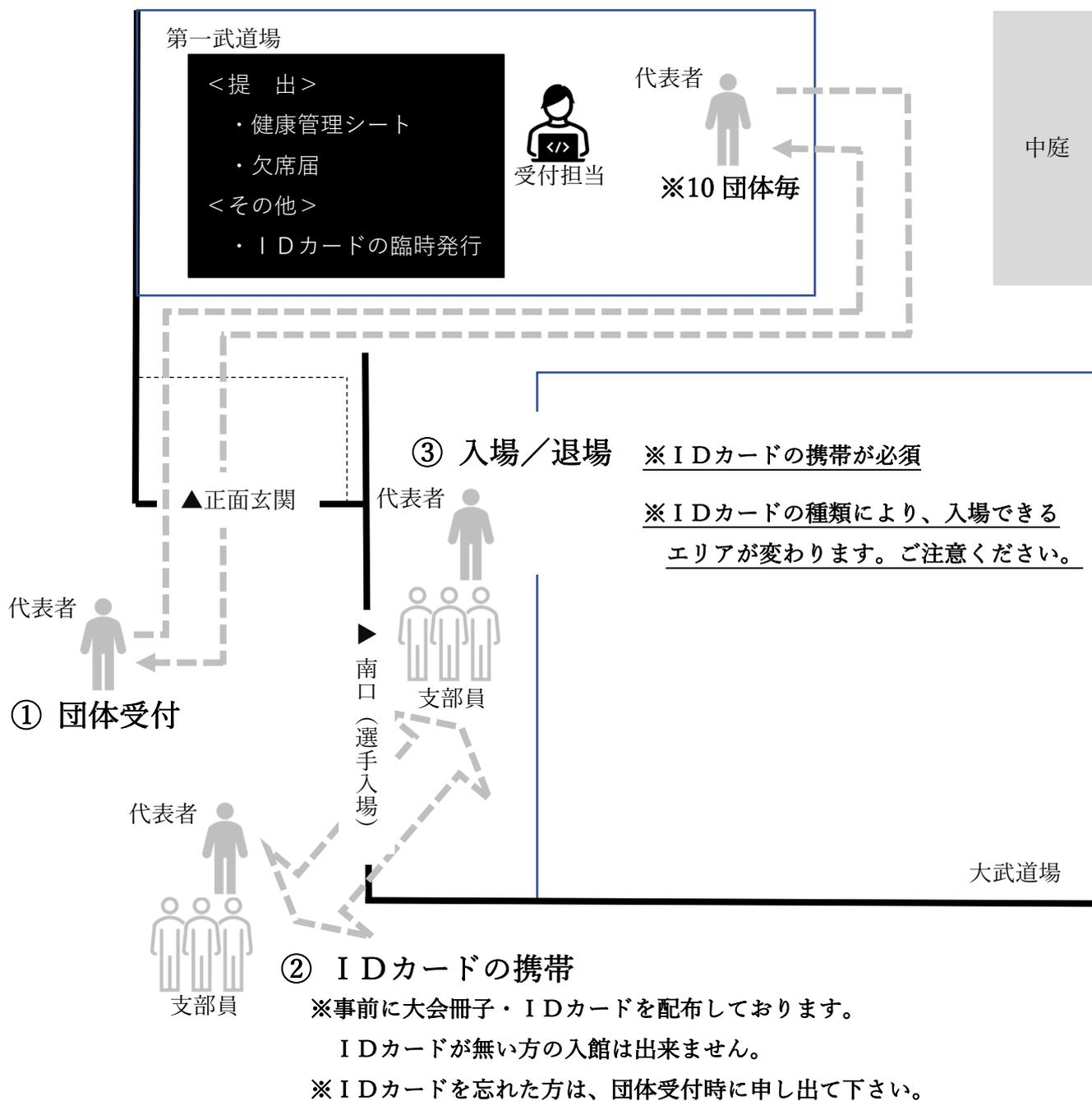
<感染対策>

- ・館内マスク着用必須・自宅での検温・入館時の手指の消毒。
- ・大会記録のシステム化など従来は手作業で実施していた事を機械化し、役員を減らす。
- ・東京武道館の入場制限により無観客試合とし、**大会前**に「係員」・「係員 兼 保護者」・「保護者」・「引率者（監督を含む）」の事前調査を実施し、属性による**大武道場の武道場面・観客席、その他会場**のエリア制限を行う。
- ・大会当日に配布していた冊子等を事前配布として、大会当日の密状態を防ぐ。

<試合関係>

- ・密状態になりやすい招集を廃止し、各コートでの招集とする。
- ・小学生／午前開催、中学生／午後開催など各競技の開始時間を管理する事で体育館内に滞留する人数を極力減らす。
- ・試合中のシールド／マスク着用する。
- ・試合前後の待機場所の換気及び密を減らす方向で対応する。

<入館手続き>



注意事項

- 入館人数を確認するため、以下の対策を取ります。
 - 1) 他人のIDカードを所持する事を禁じます。
 - 2) IDカードを紛失した場合には、臨時のIDカードを本部にて発行します。
 - 3) 感染状況に応じた入館対策を取る事になりますので、状況に応じて変更する可能性があります。ご了承ください。